

「小型家電から五輪メダル」

環境省

伊藤副大臣と柘植参院委員長が、連携



伊藤副大臣

環境省と2020年東京五輪・パラリンピック

大会組織委員会は日本郵政と連携し、先月28日から全国約3千カ所の郵便局に携帯電話の回収ボックスを設置した。いろいろな携帯電話などの小型家電（対象28品目）を回収し、部品の金属が

ら金、銀、銅を抽出して、金メダル約5千個を作る一都市鉱山からつくる「みんなのメダルプロジェクト」の一環。これまで全国の自治体の庁舎やNTTドコモの店舗など約9千カ所に回収ボックスを設置してきたが、このままでは回収量の目

標準を下回ってしまう状況に陥ってきた。このため伊藤は環境副大臣が、参院環境委員長で全国特定郵便局長会会長を務めた柘植芳文参院議員（比例代表）と連携し、日本郵政に協力を要請、今回全面的な協力を得た。伊藤副大臣は5

日の定例記者会見で「全国の商工会議所にも協力を呼びかけている。携帯電話以外も増やしたい」と述べ、回収の裾野拡大に意欲を示した。携帯電話の回収では、AU、ソフトバンクの店舗にも拡大できるかが鍵を握る。